

# 若松かねしげ四季報(夏季)

参議院議員・公認会計士・税理士 若松謙維

2015年4月13日～8月5日

戦後最長となる通常国会の会期延長、東北被災3県での統一外選挙、国政復帰後初の出版企画等が重なり、夏季四季報の作成が遅れ深くお詫びいたします。

今回の四季報では、平和安全法制の国会審議状況および統一外地方選挙を中心に伝えします。

新設した福島事務所と盛岡事務所も徐々に体制が整備されてきました。国政復帰よりすでに2年が経過しましたが、皆様のご期待に応えるため、毎日の国会と東北・北海道の移動を続け、感謝の思いで必死の戦いを貫いています。

## 1. 政 局

### (1) 戦後最長の延長国会と平和安全法制

6月22日、通常国会の会期を9月27日までの95日間延長することが決まり、会期は計245日で、通常国会としては戦後最長となりました。昨年7月、閣議決定された「武力行使の高三要件」を基に、今年に入り25回の与党協議を経て提出した「平和安全法制」関連法案の審議時間が衆議院特別委員会で116時間となり、7月23日に衆議院特別委員会で採決、翌24日は本会議で、賛成131、反対103で可決され、参議院に送られました。

衆議院では、質疑時間の9割が法案反対の野党に割り振られたため、与党の反論が十分にできず、国民の法案必要性への理解は深まりませんでした。

この反省に立ち、7月28日から審議開始となった参議院特別委員会では、野党7割、与党3割と、与党の質疑時間が衆議院の3倍となりました。

ここにきて安倍政権の支持率急落が顕著となっていますが、4年前の大震災で自衛隊が被災者救援、復旧作業等に打ち込んできた姿をみても、自衛隊の存在自体を憲法違反とする共産、社民はもとより、一部の教条的な憲法学者の法案反対に強い違和感を覚えます。

参議院では、国民が不安または正しい理解に至らない原因を真摯に探り、参議院一体となり、国民理解の伴った法案成立に全力を尽くす決意です。

### (2) アベノミクス効果と平成28年度予算編成過程

安倍政権発足より3年目の現在、GDPは年率プラス2.4%成長(2015年1-3月期)、株価は政権発足当初に比べ2倍、完全失業率は61万人減少、女性

就業数は78万人増加するなど、アベノミクス効果が幅広く表れてきました。

6月30日の閣議では、「経済財政運営と改革の基本方針2015」、「日本再興戦略 改訂2015」、「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」、「規制改革実施計画」、「平成28年度以降5年間を含む復興期間の復旧・復興事業の規模と財源」について決定されました。どれも現在の日本の制度に重要な影響を与える政策であり、この2年半続けてきた自公政権下でのデフレ脱却に向けた議論の集大成と言えます。

これらを基に、7月24日には「平成28年度予算概算要求基準」が発表され、9月以降の各省庁の予算編成作業が加速化されます。環境部会長の立場からも、アベノミクス3本の矢の1つである「規制改革」を本格的に進め、成長戦略実現へ全力を尽くしてまいります。

## 2. 国会活動・党務

### (1) 本会議と担当委員会

#### ①本会議代表質問（議事録添付）

7月3日の本会議で「農協法改正案」の審議が行われ、公明党からは私が、福島県会津地方を中心に東北・北海道の農業者の方々より直接伺った声に触れながら、代表質問を行いました。まず、福島県産農産品に対する風評被害対策を、集中復興期間が終了する平成28年度以降も継続することを訴え、林芳正農水大臣、竹下亘復興大臣より「継続する」旨の答弁を引き出しました。また、農業者の経営支援、米価下落への対応、農業の成長産業化の推進、農協監査に関してノウハウを持った農協監査士活用の継続、公認会計士監査移行後の農協の実質的負担増の防止等について質問し、大臣より前向きな答弁がありました。

#### ②委員会質問

##### 〔予算委員会〕

理事を務める予算委員会は、この期間は開催されませんでした。

##### 〔内閣委員会〕

オブザーバー理事を務める内閣委員会は、8大臣所管の幅広い内容を審議する委員会です。公明党は私一人のため、委員会開催の度に質問に立ちます。

5月14日は、4月に総理官邸の屋上に小型無人機「ドローン」が落下していた問題について、重要施設等へのテロに備えての警備体制の強化、ドローンの運用ルールの策定、規制を含めた関係法令の見直し等について質問しました。

5月26、28日、6月4日は、個人情報保護法改正案とマイナンバー法につ

いて、衆議院の附帯決議に盛り込まれた点を中心に取り上げ、個人情報保護と利活用をバランス良く推進するという観点から質問しました。

6月16日は、風営法改正によって新たに設けられる「特定遊興飲食店営業（いわゆるクラブなどが対象）」という営業形態にいう「遊興」の概念が定義されていないため、「遊興」という言葉の概念及び規制の範囲の明確化を訴えました。

7月1、7日は、国家戦略特区法改正案が審議され、地方創生に資する運用をすべきとの観点から、具体的な施策について質問しました。

### 〔東日本大震災復興及び原子力問題特別委員会〕

理事を務める復興原子力特別委員会では、「震災復興」と「原子力問題」とテーマごとに質疑が行われ、私は震災復興関連で質問に立ち、同僚の新妻秀規議員が原子力問題で質問に立ちました。

4月22日は、榑葉町の住民の声を中心に取り上げ、インフラ整備、介護施設人材整備、避難指示解除後の賠償期間、営業賠償等について質問しました。（議事録添付）

6月1日は、帰還に向けた商店・医療機関の再開やなりわいの復活のための政府の取り組み、JR常磐線の早期全線復旧に向けたJR東日本に対する指導等について質問しました。

## （2）公明党政務調査会活動

### ① 環境部会長、総合エネルギー政策本部および地球温暖化政策本部事務局長

本年は、国内外において、エネルギーミックス、地球温暖化対策等の重要会合が開催されました。これらを受けて、環境部会ではCO2削減を中心に議論し、4月17日は、政府が策定を進めている2030年時点の最適な電源構成（エネルギーミックス）に関する提言書を、4月21日は、2020年以降の日本の温室効果ガス削減目標に関する提言書を、それぞれ総理官邸で菅義偉官房長官に手渡し、具体的な行動計画を提示するよう要請しました。

6月22日は、いわき市で開催された2機目の7MW浮体式風力発電風車「ふくしま新風」の披露会に出席しました。

6月29日は、水素技術の先進事例視察のため、福岡県を訪れ、北九州市で進められている水素タウン事業の一環で、エネルギー消費量を46%削減した事例を、福岡市では下水の汚泥から水素を作り、自動車を走らせる世界初の事例をそれぞれ視察しました。

### ② 国会事故調査会

有識者による国会事故調査会報告書のフォローアップとして、4月21日、23日、5月20日の3回会合を開催し、党内議論のとりまとめを担当しました。

### ③ 全国代表者会議

地方統一選直後の全国代表者会議（6月6日）では、山口代表が、安全保障関連法案の今国会成立の必要性を訴え、国会会期後半の重要課題を共有した会合となりました。

#### （2）『福島再エネ 100%イノベーション』著書完成と出版パーティー

出版企画開始から1年間かけて、著書「福島再エネ100%イノベーションー原子力社会から水素社会へ」が完成しました。文科系の私には、物理の電気と化学の水素という、未知の世界への挑戦であり、当初は完成のめどが立っていませんでした。しかし、福島復興の思いを関係者に訴えたと、資源エネルギー庁、環境省、福島県庁が情報提供等、期待以上の協力をしてくれ、さらに、竹谷とし子参議院議員、濱村進・真山祐一両衆議院議員による資金的協力もいただき、5月30日、3千冊の初版が完成しました。

まずは、福島県内での企業中心に出版記念懇親会を、7月27日いわき市（70名参加）を皮切りに、福島市、郡山市、会津若松市で順次開催します。

8月5日は、国会前の「憲政記念館」で「出版記念パーティー」を開催し、130名の参加者を見ました。福島復興支援の意義も含むため、日本酒金賞24銘柄（日本一）中20種類を集め、郡山市のうねめ牛、会津の馬刺し、伊達市の桃等、福島食材を堪能していただきました。

#### （3）超党派議員連盟活動

7月11日午前、日韓議員連盟が議員会館内で開催され、私は「地方参政権、ヘイトスピーチ」を議論する委員会に参加しました。午後は、幹事長を務める日本ワシントン州友好議員連盟の呼びかけで来日した「ワシントン州福島県人会」10名の国会見学を受け入れ、特別に参議院議長との懇談の機会をつくっていただきました。その中に、私と同性である2人の「ワカマツ」さんも参加されました。

## 3. 国会外・地域活動

#### （1）公明党東北方面幹事長

党の東北方面議長は井上義久幹事長であり、私は補佐役の方面幹事長として、東北内の様々な会合に出席しています。

〔5月4日〕会津若松市内でネパール地震街頭募金活動に参加。

〔5月16日〕山形県本部新人研修会に参加。

〔5月23日〕青森県知事選応援のため、弘前市、五所川原市、青森市計7か所で現職の三村申吾知事の応援に立ちました。

〔6月10日〕宮城県泉南総支部で、平和安全法制を中心に国政報告。

〔6月7、14日〕郡山市議会副議長のおじま寛子市議の地元富田町4か所で開催した市政報告会に参加。

〔6月20日〕郡山市の自宅周辺の支持者有志の依頼で、平和安保法制解説。

〔7月8日〕小森谷優さいたま市議会議員の地元見沼区（旧・衆議院選挙区）の党員会で平和安保法制、軽減税率、福島復興状況を説明。

〔7月12日〕秋田市公明党総支部主催の農業者懇談会（市内3か所）に参加。

## （2）統一地方選後半戦と統一外地方選

統一地方選では、公明党の候補者1,593人のうち1,589人を、皆様の絶大なるご支援により当選させていただきました。東北の地方選も、本来は統一地方選でしたが、震災の影響で選挙が延期されたため、福島、宮城、岩手3県の選挙が6月下旬から始まり、現在は選挙戦まっただ中です。以下、主な選挙支援活動を報告致します。

〔4月19日、20日〕前日発症したぎっくり腰を抱え、19日早朝、盛岡市から高速バスで大館市へ移動し、市議2候補者、その後、秋田市へ電車で移動し、市議4候補者、20日は、米沢市議2候補者の応援演説にそれぞれ駆け付けました。週明けに鍼・指圧治療でぎっくり腰を克服しました。

〔4月22日〕午前中、東京都中央区議4候補者の応援演説。

〔5月7日〕公明党福島総支部大会で、甚野源次郎県議の後継者となる「伊藤たつや」予定候補を紹介。

〔5月30日〕会津若松市議選の大山きょうこ予定候補の個人人脈をまわり挨拶。

〔6月23日〕東京を始発で発ち、岩手県紫波町議藤原けいこ候補の出陣式で挨拶。

〔7月4日〕白河市議のむろい伸一候補の応援演説2か所。

〔7月5日〕本宮市議かわな順子候補の応援演説2か所。

〔7月11日〕仙台市泉区新人佐藤ゆきお予定候補の地元町内会で応援演説。

〔7月19日〕公明党1名増の滝沢市議選で2名の候補者の応援演説。

〔7月20日〕会津若松市議選では、農業経営者のつちや隆候補を一日応援。

〔7月22日〕午前は白石市菅野きょうこ候補の応援、午後は仙台市内の福祉関係施設を訪問。

〔7月25、26日、8月2～4日〕統一外地方選後半戦最大の大型選挙である仙台市議選は、25日、かまた城行とおだしま久美子両候補の応援演説、26日、公明9候補者の事務所激励と個人人脈アプローチ。8月2日から4日、泉区の佐

藤ゆきお、おだしま久美子両候補の応援に、3日連続で国会から仙台に駆け付けました。

〔8月2日〕郡山市議選の告示日、山口那津男公明党代表を迎え、4候補合同の演説会を開催。

### （3）公明党福島復興加速化本部議長

大震災発災より4年が経ち、避難者の方々の相談は多様化し、個別の対応となる事例が増えています。そこで、5月24日、安部やすお県議（いわき市選出）およびいわき市議と一緒に個人宅に伺い、相談に応じさせていただきました。

6月21日は、避難指示解除が予定されている檜葉町から避難され、帰還を検討している8組のご家族と意見交換をしました。その内容を、すぐに高木陽介経済産業副大臣および復興庁等に伝え、善処するよう要請しました。

6月28日は、双葉郡のインフラ復旧最大の課題であるJR常磐線の高線量地帯や橋梁損壊の現場を、井上義久幹事長、石井啓一政調会長、真山祐一衆議院議員らと共に視察しました。JR東日本から、復旧に向けた新たな取り組みについて説明を受けるなど、現場へ行くことが復興加速化に繋がることを実感しました。

### （4）後援会活動および地元会合

仙台市の企業有志による政策勉強会「仙若会」は、4月24日、6月19日に定例会（主に福島再エネ著書について）を開催しました。

6月15日は、都内で公認会計士による後援会「CPA元気アップ隊」の年次総会を開催していただきました。

6月23日は、郡山西ライオンズクラブの入会式に参加し、ほぼ全員の会員参加の中で、私の入会を歓迎していただきました。

### （5）その他視察

〔5月9日〕土湯温泉での小水力発電竣工式に、同僚の浜田、竹谷両参議院議員、真山衆議院議員と参加しました。

〔5月10日〕県道黒磯田島線の整備促進を受け、南会津町の栃木県境を視察。

〔6月8日〕酒田市の日本海総合病院で県立および私立病院の合併事例を視察。その夜、平田牧場の新田嘉一会長の河北新報社賞授賞式に出席しました。

〔6月12日〕学校法人昌平黌（いわき市）のネパール人留学生（119名）が中心となって募ったネパール大地震の義援金760万円のネパール駐日大使への贈呈式に立ち会いました。

〔7月11日〕山口代表に同行し、釜石製鉄所を表敬・視察訪問。

## 4. 公認会計士・税理士・行政書士活動

4月20日、「CPAポリティックス・フォーラム政策研究会」を都内で開催し、金融庁企業開示課長から上場会社の「複数社外取締役制度」の解説を受けました。

7月17日は、10年前から関与していたベーカーテリー・インターナショナル（BTI）のアジア太平洋経営会議者懇親会に出席しました。

## 5. 若松事務所の現況報告

### ①国会事務所（恩田政策秘書、菊池秘書）

4月から5月中旬まで、若松事務所でマンスフィールド財団の交換留学プログラムによる研修を行っていた米国エネルギー省のキャメロン・サロニーさんは研修を終え、現在は、従来通り、恩田さんと菊池さんがサポートしています。

\*東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館 1207号室

Tel:03-6550-1207 Fax:03-6551-1207

### ②福島事務所（佐藤第1公設秘書）

以前の郡山事務所は真山衆議院議員の事務所となり、私は、県都の福島市内に事務所を移転しました。自宅は郡山市清水台で変わりません。

\*福島県福島市陣場町8-24 SSTビル2階

Tel:024-522-2500 Fax:024-522-2505

### ③盛岡事務所仙台事務所（太田第2公設秘書）

北東北3県（岩手・青森・秋田）の活動拠点として、盛岡市に事務所を設けました。

\*事務所：岩手県盛岡市茶畑2-10-8 ササエイビル2階（公明党岩手県本部内）

Tel:019-656-7761 Fax:019-656-7762

### ④上尾事務所（公認会計士業務および資金管理団体〈市民フォーラム〉の活動拠点であり、妻がサポートしています。）

\*事務所：埼玉県上尾市仲町1-4-16

Tel:048-777-3515 Fax:048-777-3516

### ⑤新橋事務所 企業新生、事業再生、税務コンサルティング等の高度な相談事項、NPO法人行政再生の仲間との行財政構造改革（財政の見える化）などの政策立案の活動拠点です。末松さんがサポートしています。

\*事務所：東京都港区西新橋3-5-2

Tel:03-5777-2123 Fax:03-5777-2130

以上